

Quality Management News

《医療の質・安全ニュース》



No. 8 09/07/吉日

リスクマネジメント講習会から

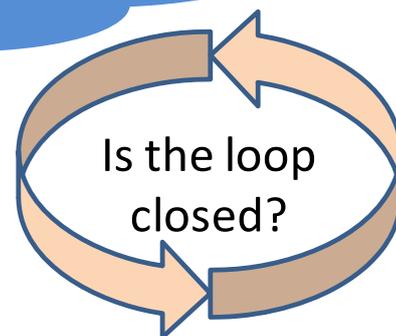
《《医療従事者間のコミュニケーションについて》》

SBAR推進月間



- **S**ituation
- **B**ackground
- **A**ssessment
- **R**ecommendation

(日本語の語呂合わせ募集中)



私たちのコミュニケーションは明快ですか？

Situation :	状況 : 患者さんはどんな状況にありますか？
Background :	背景 : その患者さんはどんな方ですか？
Assessment :	評価 : 今、報告しているあなたの評価は？
Recommendation :	依頼 : 報告先の相手にしてほしいことは？

3つのH

《“3つのH”について》

何かと慌ただしいこの季節、インシデントが増えてしまう、とお思いの方もおられるのでは???

ある航空会社では整備士による飛行機の作業不具合を防ぐために、「合言葉」を元に航空事故回避に取り組んでいます。

その合言葉は

3つのH

初めて
(Hajimete)

久しぶり
(Hisashiburi)

変化
(Henka)

「3つのH」を私たちに当てはめると

- ☆初めての経験
- ☆初めて会ったスタッフと働くとき
- ☆初めての器械を使うとき

- ☆何年もしていなかった処置をするとき
- ☆部署に帰属したとき
- ☆何年も使っていなかった薬を使用するとき

- ☆人・環境が変わるとき
- ☆仕事を一旦止め、再開したとき
- ☆気分が憂鬱・イライラしているとき

いつもと何かが違う時に、インシデントは起こりやすい。
未然防止のために「3つのH」を心にとめて。

ちょっと立ち止まって深呼吸、気分を整え流れを変えよう！！

国公立大学附属病院医療安全セミナー

本院リスクマネージャーにも
参加していただきました！

6月24日(水)から6月26日(金)までの3日間にわたり、特別教育研究経費による「**国公立大学附属病院医療安全セミナー**」(文部科学省後援)をコンベンションセンターにて開催し、全国から、国公立大学附属病院で病院全体の医療安全を担う医師、看護師、薬剤師、技師、事務職員等、約220名が参加しました。

テーマ：**「ヒューマンエラーの考え方に基づく医療安全とその教育」**

「**医療安全の現状と課題**」(中央クオリティマネジメント部 中島和江部長)と題した講演に続いて、「**ヒューマンエラー**」(立教大学 芳賀繁教授)、「**航空界における安全の取り組み**」(全日本空輸 田中龍郎部長)、「**院内事故調査**」(自治医科大学附属病院 長谷川剛教授)など、安全に関する学際的な知見についての講演や、**インシデントレポート**や**早期発見などを題材とした参加型セッション**があり、受講者との活発な意見交換が行われました。

事務部の皆様には、運営ご協力ありがとうございました！

